

山陽小野田市 (厚狭川・有帆川地区)

ハザードマップ

本マップの高潮浸水想定区域の設定は以下の外力条件に基づいたものです。
(想定する台風)

- 最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風を基本とし、各海岸で潮位偏差が最大となるよう複数の台風経路を想定しています。
- 【想定する台風の規模】
- 中心気圧: 910hPa (室戸台風)
 - 最大旋風半径: 75km (伊勢湾台風)
 - 台風の移動速度: 73km/h (伊勢湾台風)

浸水継続時間

12時間	12時間~24時間(1日)	24時間~72時間(3日)	72時間~168時間(1週間)	168時間~
------	---------------	---------------	-----------------	--------

浸水継続時間とは、浸水開始後、浸水深が0.5mに達してから下がるまでの時間です。

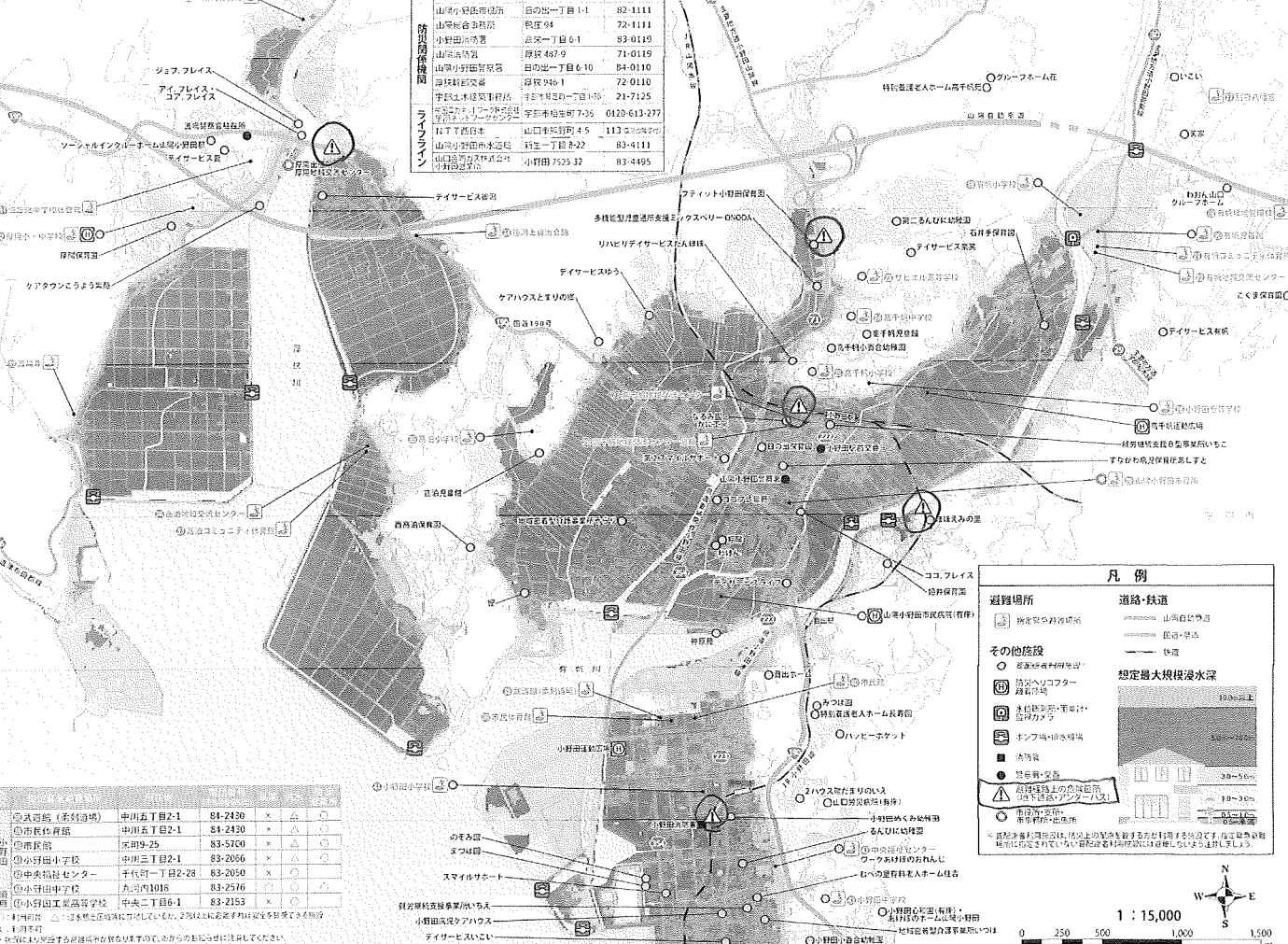
浸水深0.5mは、1階の床面に相当し、高潮時に建物が倒壊したりする危険のあるものとして設定されています。また、急激的な水位変動は考慮していないので、目安としての活用に留めてください。

消防団	消防団番号	消防団長	消防団員数
山陽消防団	第1分団	山本 隆夫	120名
山陽消防団	第2分団	山本 隆夫	120名
山陽消防団	第3分団	山本 隆夫	120名

施設名称	所在地	電話番号
山陽小野田市立第一小学校	日の出二丁目1-1	82-1111
山陽小野田市立第二小学校	厚狭町94	72-1111
山陽小野田市立第三小学校	湯原一丁目6-1	83-0119
山陽小野田市立第四小学校	厚狭497-9	71-0119
山陽小野田市立第五小学校	日の出二丁目6-10	84-0110
山陽小野田市立第六小学校	厚狭946-1	72-0110
山陽小野田市立第七小学校	宇治木本区東区南町	21-7125
山陽小野田市立第八小学校	宇治木本区東区北町	0120-613-277
山陽小野田市立第九小学校	山口本町4-5	113-8989
山陽小野田市立第十小学校	湯原一丁目2-22	83-4111
山陽小野田市立第十一小学校	小野田7525-32	83-4495

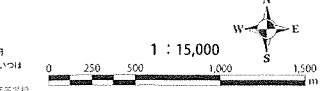
施設名称	所在地	電話番号
山陽小野田市立第一小学校	日の出二丁目1-1	82-1111
山陽小野田市立第二小学校	厚狭町94	72-1111
山陽小野田市立第三小学校	湯原一丁目6-1	83-0119
山陽小野田市立第四小学校	厚狭497-9	71-0119
山陽小野田市立第五小学校	日の出二丁目6-10	84-0110
山陽小野田市立第六小学校	厚狭946-1	72-0110
山陽小野田市立第七小学校	宇治木本区東区南町	21-7125
山陽小野田市立第八小学校	宇治木本区東区北町	0120-613-277
山陽小野田市立第九小学校	山口本町4-5	113-8989
山陽小野田市立第十小学校	湯原一丁目2-22	83-4111
山陽小野田市立第十一小学校	小野田7525-32	83-4495

施設名称	所在地	電話番号
山陽小野田市立第一小学校	日の出二丁目1-1	82-1111
山陽小野田市立第二小学校	厚狭町94	72-1111
山陽小野田市立第三小学校	湯原一丁目6-1	83-0119
山陽小野田市立第四小学校	厚狭497-9	71-0119
山陽小野田市立第五小学校	日の出二丁目6-10	84-0110
山陽小野田市立第六小学校	厚狭946-1	72-0110
山陽小野田市立第七小学校	宇治木本区東区南町	21-7125
山陽小野田市立第八小学校	宇治木本区東区北町	0120-613-277
山陽小野田市立第九小学校	山口本町4-5	113-8989
山陽小野田市立第十小学校	湯原一丁目2-22	83-4111
山陽小野田市立第十一小学校	小野田7525-32	83-4495



消防団	消防団番号	消防団長	消防団員数
山陽消防団	第1分団	山本 隆夫	120名
山陽消防団	第2分団	山本 隆夫	120名
山陽消防団	第3分団	山本 隆夫	120名

避難場所	道路・鉄道
指定避難場所	山陽自動車道
その他施設	国道・県道
避難場所	鉄道
指定避難場所	指定最大規模浸水深
避難場所	300~500cm
避難場所	500~800cm
避難場所	800~1000cm
避難場所	1000cm以上



疫学についての知見：帯状疱疹の発症率

帯状疱疹の罹患率は50歳代から増加し、70歳代がピークとなっている。

Kimiyasu Shiraki et al.¹ (Open Forum Infectious Diseases)

研究内容：2009年6月～2015年12月に宮崎県下の皮膚科46施設（総合病院皮膚科7施設、皮膚科診療所39施設）を受診した者のうち、帯状疱疹患者と初めて診断された者を性・年齢階級別に集計した。

結果：調査対象の17年間の初診の帯状疱疹患者総数は34,877人であった。

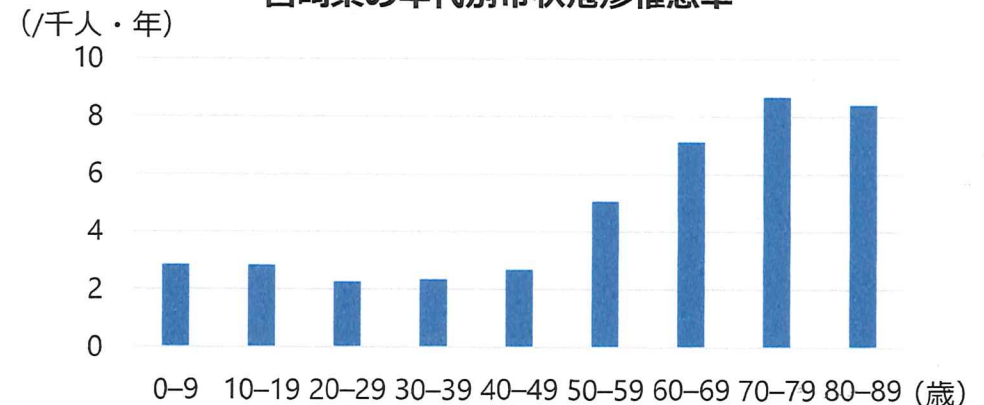
千人・年あたりの帯状疱疹の罹患率は右表のとおり。

宮崎県の年代別人口及び年代別帯状疱疹患者数

年齢	人口	初診の帯状疱疹患者数 (1年あたり)	帯状疱疹罹患率 (/千人・年)
0-9歳	101,061	287	2.84
10-19歳	111,230	315	2.83
20-29歳	96,085	216	2.25
30-39歳	131,587	310	2.35
40-49歳	130,989	351	2.68
50-59歳	154,204	779	5.05
60-69歳	166,032	1,183	7.12
70-79歳	128,461	1,117	8.69
80-89歳	81,828	688	8.40
50歳未満	570,951	1,479	2.59
50歳以上	530,526	3,766	7.10
全年齢	1,101,477	5,245	4.76

※Supplementary Tableのデータより、予防接種課において作成

宮崎県の年代別帯状疱疹罹患率



※Supplementary Tableのデータより、予防接種課において作成

厚生労働省 HPより